

三木の元気を
みる、きく!

by KOBEYA SPORTS

ミキキ

vol.3



熱い歓声を
憧れの選手へ



レジェンド野球選手と、
ここでしかできない体験。
夢のような時間は一生の思い出に。



THE 野球盤

BASEBALL
BOARD
GAME

12月14日（土）、ほっともっとフィールドでコーベヤ主催「THE野球盤」の決勝戦が開催されました。テーマは「野球の楽しさを、もっと身近に」。決勝戦に勝てば、糸井選手、今成選手、関本選手からなる阪神レジェンドチームとのエキシビション対決が待っています。今回は決勝戦とエキシビション対決の様子をレポートします。



レジェンドとの対決に向け、気合十分

小学生の部、決勝戦出場チームは三草スポーツ少年団と舞多聞少年団野球部でした。3回までにはヒットも出始め、コツをつかめていた様子でしたが勝負がつきません。迎えたタイブレーク、満塁の状況で三草スポーツ少年団からヒットが生まれ、サヨナラ勝ちとなりました。レジェンドとの対決に向けて意気込みを聞かれると「ボコボコになります！」と元気に答えていました。

憧れの選手のスイング！

そして迎えたレジェンドとのエキシビション対決。2回表からはひょうが降り、寒空の下の対決でした。両者0点のまま迎えた最終回、今成選手の3ベースヒットに続き、関本選手のヒット！ 結果はレジェンドチームの勝利となりました。悔しそうな小学生たちでしたが、試合終了後にレジェンドたちと握手をしてもらったり、「良いスイングでした」と声をかけてもらったりして、うれしそうな様子でした。

決勝の舞台に苦戦

一般の部、決勝に進んだのはNexusとANDONE。予選では、Nexusが28点、ANDONEが17点と両チームとも高得点をマークしていました。しかし、決勝では球種とスピードに苦戦し、両チームともなかなか得点をあげることができませんでした。そのようななか、ANDONEが2点を取り、2-1で決勝進出となりました。

レジェンドへの特別ルールが追加、勝負の行方は？

決勝戦では、2回表ANDONEの攻撃時、特別ルールとして今成選手がピッチャーとして登板！ ナイスピッチングで会場を沸かせてくれました。そして、2回裏で再び今成選手が活躍。ソロホームランを放ち、レジェンドチームが先制しました。

これが決定打となり、0-1で試合終了かと思われましたが、ANDONEから試合延長を希望する声が上がりました。レジェンドチームの「やりましょう！」という声で、1イニング追加が決定しました。ANDONEは途中、得点圏にランナーを置き長打も出しましたが、運悪く得点とはならず、一般の部でもレジェンドチームの勝利となりました。

レジェンドからのエールも

エキシビション対決の後にはレジェンドによるトークショーも開催されました。トークショーの最後には糸井選手が小学生たちに向けて「次はプロ野球選手として会いましょう」とエールを送りました。

THE野球盤とは？

ボードゲームの野球盤を実際の球場に再現したイベントです。ピッチャーマシンのボールを打ち、「アウト」や「ヒット」のエリアに飛んだ打球をもとに得点を競います。

INTERVIEW

映像とわたし

interview



今回お話を伺ったのはSYNCHROTRON株式会社の永井芳憲代表。kiki PARKで開催した「芝生の映画館」の運営と、「THE野球盤」の音響にご協力いただきました。

代表として大切にしている理念や、独立に至るまでの経験など、貴重なお話を伺うことができました。また、地元である西脇市への想いも語っていただきました。



永井 芳憲 ながい よしのり

1982年兵庫県西脇市生まれ。SYNCHROTRON株式会社代表取締役、映像プロデューサー。株式会社博報堂プロダクツ、株式会社カブコンを経て独立。映像を通じて幸せの循環を共創するべく活動中。信条は人それぞれがもつ資質を尊重し、仲間とともに三方良しな志事を追求すること。愛読書は『花の慶次～雲の彼方に』。

映像の道へ進んだきっかけはなんですか？

永井：中学2年生のときに『耳をすませば』と『もののけ姫』を見て、とても衝撃を受けました。それで自分でも映像とかをやってみたいと思っていましたが、周りに自分と同じような人はいなかつたし、勇気も必要だったから、両親や友人には黙っていました。でも、高校に入って勉強が身に入っこなくて、そこから芸大に入るためにはデッサンなどの勉強を始めました。

独立してから大切にしていることはなんですか？

永井：新卒で入社した広告代理店では、クライアントと自分たちの関係が対等じゃないことに違和感というか辛い気持ちがありました。だから、今の会社ではフェアと一緒に仕事をするというスタンスを大切にしています。あとは、依頼されたものに対して、いかにそれを超えていくかということを意識しています。依頼されたものをそのまま返すのはプロとして当たり前だと思っています。依頼以上のものを返すことで、自分のなかに新しい経験を取り入れていきたいと思っています。そういう思いが通じたのか、自分たちの仕事を認めてくださり、信頼を勝ち得て創業期から長くお付き合いしている会社もあります。

SYNCHROTRON株式会社

映像企画/制作

- ・プランディング/CM/プロモーション/ゲーム
- ・WEB/アプリケーション開発
- ・3DCG/VFX/アニメーション/ライブ配信
- ・VR/AR/プロジェクトマッピング

デジタルコンテンツ 企画/制作

西脇市のPVを作られていますが、どのような思いから作られましたか？

永井：独立前、東京で働いていたときに体調を崩し、西脇に帰りました。そこで過ごした数か月がすごく良かったですね。やっぱり昔より町の活気は無かったです。しかし、故郷が好きだ、大切な場所だなと思いました。そこから地元のPRのために貢献したいとずっと思っていました。数年前、全国に地方創生の予算がついて西脇のPRをしようとなつたとき、知人から一緒にPVの制作をやりましょうと声をかけていただきました。自分の街の魅力って住んでいると意外と気づかなかったりするので、映像を見て故郷愛を感じてほしいな、と思います。この制作をしただけでも、自分が映像をしてきてよかったなど本当に思いましたね。



YouTube
西脇市PR映像
『ヘソオノウタ Heso no O no Uta』



今後の展望や目標などはありますか？

永井：もっとメジャーな仕事もやってみたい気持ちはもちろんあります。自分たちの作品も作りたいです。あとは、関わる人たちが仕事を通じて幸せになって、仕事が存続していくのが理想です。映像を通じて幸せを享受しあえるということを大きくしていきたいです。誰かの幸せの裏で誰かが泣いているのではなく、誰もがフェアである、誰もが幸せである、それが大事だと思っています。



さまざまな質問からコーベヤで働く人たちの人となりが見つかる！

前川 真優 まえかわ まゆ ホールセール部 生協販売課

商品の情報を集めてチラシの制作会社へ入稿したり、生協宅配のカタログを作成したりしています。最近は新たに、生協職員さん・組合員さんに向けて商品を紹介する動画を作成しました。紙面を通して商品の良さや元気を届けられるよう頑張っていきます。

Q 仕事の必需品はありますか？

A 赤ペン！校閲するのにかかるせません！

Q 行ってみたい国・場所は？

A 冬の銀山温泉。

海外だと『魔女の宅急便』モデル地となつたスウェーデンのストックホルムと、『ハウルの動く城』モデル地となつたフランスのアルザス地方。

Q マンガを読むならスマホ派？紙派？

A 場所もとらないし、どこでも読めるのでスマホ派。

Q 最近仕事で大変だったことはありますか？

A 生協職員や組合員さんに向けて商品説明動画を作ったこと。動画作成自体が初めてで、先輩社員やパートさんの意見を聞きながらなんとか完成させました。YouTuberやインフルエンサーの方はすごいなあ……と実感しました。

Q 仕事の楽しさを教えてください

A 紙面を通して健康や豊かな暮らしの手助けができる。自分の作った紙面から商品を購入してもらえることが嬉しいです！

Q 最近応援しているスポーツ選手は？

A 福岡ソフトバンクホークスの周東右京選手！

一盗、二盗、周東～

Q 今後の目標は？

A 『住人十色』に出てくるような好きなものを詰め込んだ家に住むこと！

Q 好きなスポーツと得意なスポーツは？

A 高校野球の観戦が好きで毎年楽しみにしています。小学校～高校までソフトテニスをしていました。

編集後記

『ミキキ』冬号ではTHE野球盤の様子を取り上げました。2024年1月に第1回を行ったばかりのイベントですが、コーベヤ内でも特に規模の大きいイベントです。SNSによる拡散だけでなく、紙媒体でもその様子をお伝えすることで、よりTHE野球盤とコーベヤの名前を浸透させることができれば、と思いながら作成しました。

インタビューでは、SYNCHROTRON株式会社の永井芳憲代表にお話を伺いました。仕事に対する信念をお話いただいたとき、社会人2年目の身にはその言葉がグサグサと刺さる心地がしました。お忙しいなかご協力いただき、誠にありがとうございました。

2024年の夏から始まった『ミキキ』ですが、vol.3まで発行することができました。今後もコーベヤの情報をお伝えでき

るように精進していきます。引き続きご感想やご意見をお待ちしております。

それでは5月の春号でまたお会いしましょう！

【編集フジワラのつぶやき】

11月に色彩検定3級の試験を受けました。結果は無事合格しました！一安心です……。

勉強を通して、『ミキキ』作成に役立ちそうな知識を得ることができましたが、それだけではまだ不足しているな、と実感しています。これからも新しいことを吸収していくように頑張ります！

企画・制作

KOBEYA SPORTS

株式会社コーベヤ 管理部
兵庫県三木市加佐340
TEL 0794-83-6399

2025年2月1日発行